

○タイトルについて

- ・「川角駅周辺地区整備協議会結果報告書」に変更

○報告書は項目（目次）立てし下記の項目で整理する

①協議会設置の趣旨

②協議会の進め方

③協議会の検討経過

④協議会での検討結果

- ・整備基本方針（川角駅・駅周辺道路・駅周辺排水対策等）
- ・整備方針（段階整備）

⑤今後の進め方

⑥参考資料

○上記報告書をまとめ、「答申書」の表書きを付け、町に提出する

※上記スタイルでまとめることを基本とするが、今回配布された資料について、以下の訂正が必要と考
える

○2枚目（ページ表記無し）

- ・表題を加える

「協議会設置の趣旨」

- ・文章を報告書の文体（形式・様式）にする

- ・上から9行目 「採択されました。協議会の設置にあたり」を

「採択されました。更に、協議会の設置にあたり」に訂正

- ・記の①以下の通り訂正

第一段階として、駅利用者による駅周辺の混雑を解消し、安全を早急に確保するため、川角駅の
橋上駅化に伴う整備の内、南北の駅前広場・アクセス道路を先行して整備する。

また、アクセス道路の現道タッチ部から、延命寺先交差点までの歩道を整備する。

整備にあたり、周辺地区の排水対策を併せて実施する。

- ・記の②に以下を追加

尚、事業の進捗や財政状況によるが、可能であれば、第一段階と同時実施が望ましい。

- ・記の③

第3段階として、駅利用者の利便性向上のため、既存北口の駅機能を自由通路に移設し橋上駅舎
とする。（橋上化完了まで北口は維持する）

- ・記の④

2行目カッコ書き内（駅北側）を（踏切を含む）に変更

- ・記の⑤を追加

上記事業の実施にあたっては、毛呂山町は、川角駅周辺地域住民、特に沿道の住民との合意を最
優先に考え、計画段階から、丁寧な説明に留意すること。

- ・記の⑥を追加

毛呂山町は事業執行にあたり、当協議会で決定した内容等に変更が生じた場合、協議会の意見を
聞くものとする。

○2ページ

- ・下から11行目「ポケット的な場所の整備」について意味が不明。

- ・下から4行目

必要があることから、~~町道6号線~~この部分の歩道整備も実施すること、としました。

○3 ページ

- ・②の 解消するため、南北駅前広場を結ぶ自由通路を整備すること。
- ・③の 利便性向上のため、現在の北口改札を自由通路に移設し橋上駅舎を整備すること
- ・③の下から 11 行目 橋上駅が出来ない場合は北口を残してほしいという残すべきという意見や
- ・③の下から 4 行目 踏切周辺の危険な状況を解消するため、自由通路を整備すること、第 3 段階として駅利用者の利便性向上のため、北口改札等駅機能を自由通路上に移設し橋上駅舎を整備することとした。但し、これにより整備が完了するまで既存改札口（北口）は維持されることとなります。

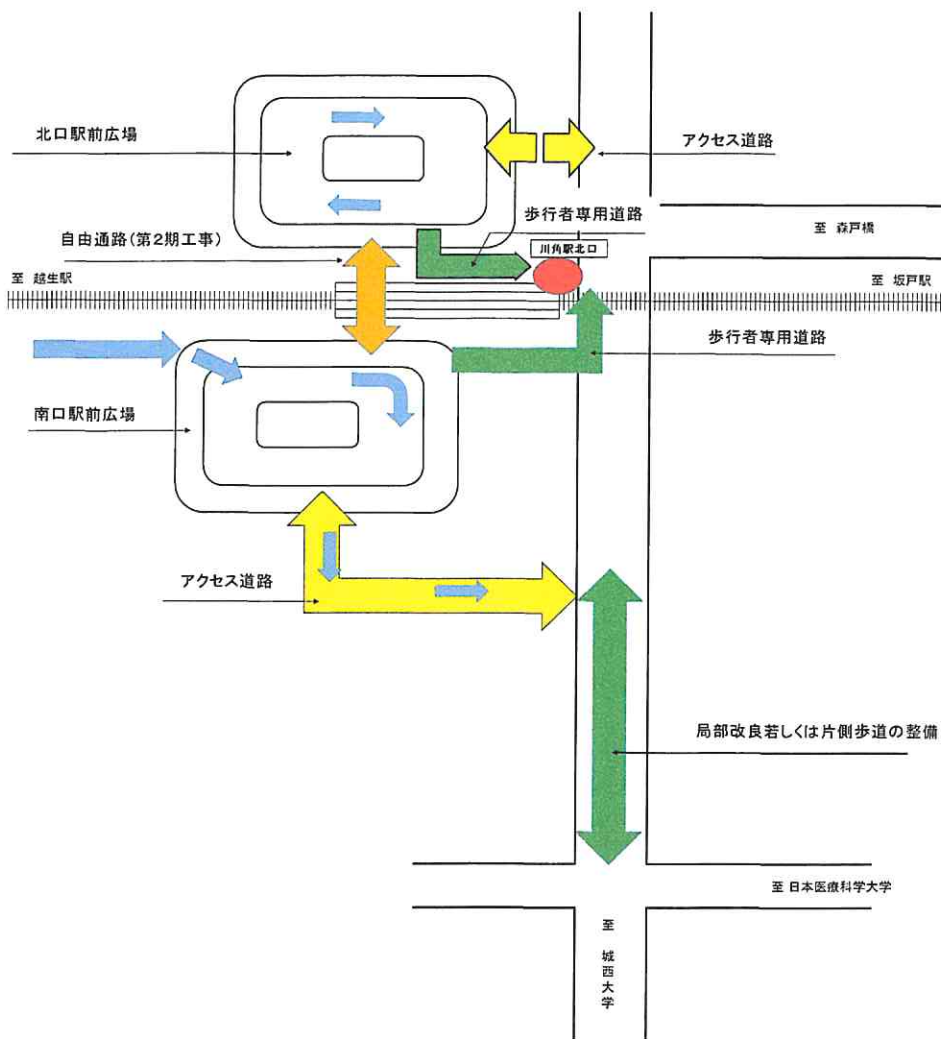
○4 ページ

- ・最下段に以下を追加
 - ・閉鎖された踏切対策として、高麗川左岸の自歩道整備、及び高麗川鉄橋下への自歩道を整備を検討する。

○図面の追加

- ・文言の説明だけでなく、図面を添付し解りやすくまとめる。

駅周辺整備イメージ図

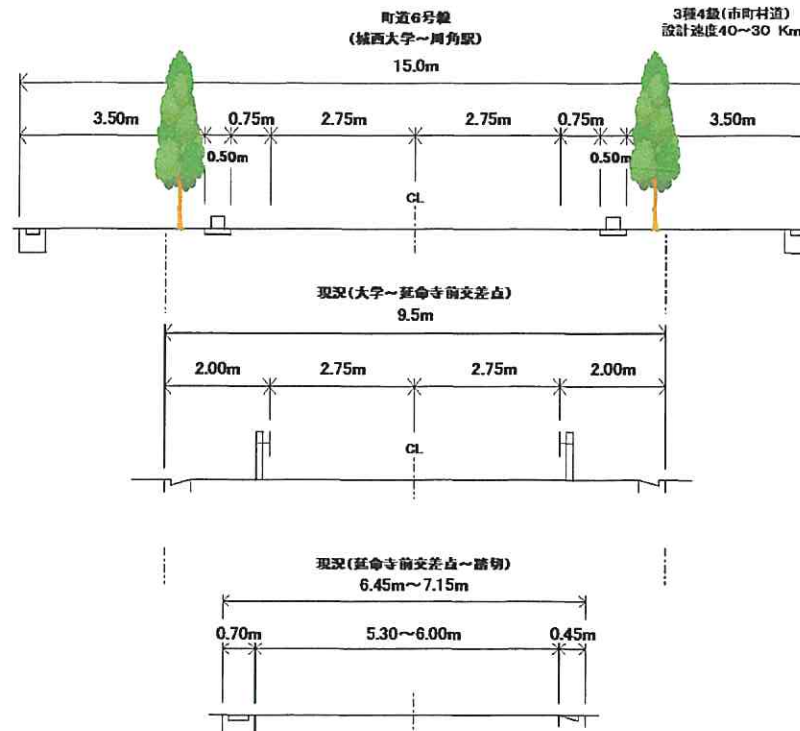


整備計画

- ①第1期 総事業費 →9億2千万円 (まち交等を入れることで、3割から5割減、起債可能)
 - ・事業期間 →令和3年～令和5年(町の計画ではR5となっているが無理)
 - ・整備施設
 - ・整備施設南北駅前広場の整備(アクセス道路含む) →7億4千万円
 - ・駅南側アクセス道路の現道タッチ部から延命寺先交差点までの局部改良工事 →1億8千万円
 - ・排水対策(駅広、アクセス道路整備に合わせ実施)
 - ②第2期 総事業費 →11億5千万円((まち交等を入れることで、3割から5割減、起債可能)
 - ・事業期間 →令和6年～令和9年
 - ・整備施設 →自由通路、歩行者専用道路整備(自由通路は可能であれば第1期へ) (補助対象には南北駅広整備及び道路認定必要)
 - ③第3期 総事業費 →9億円((まち交等を入れることで、3割から5割減、起債可能)
 - ・事業期間 →令和8年～令和10年
 - ・整備施設 →北口改札を含め、駅機能の橋上化
 - ④第4期 事業費 ○○億円((まち交等を入れることで、3割から5割減、起債可能)
 - ・事業期間 →令和8年～令和10年
 - ・整備施設 →町道6号線の整備、日化団地への歩行者専用道路整備、森戸橋関連の整備等
- ※閉鎖された踏切対策として高麗川左岸の整備と鉄道橋下への歩道整備を検討する

町道6号線・アクセス道路

※町道6号線局部改良横断面図であるが、片側歩道先行でも中心線を決め片側拡幅とする



(現況)



(整備イメージ)



(参考)駅前広場イメージ(川越市笠幡駅 出典:川越市HP)



【笠幡駅前広場】

- 駅前広場面積 約2,200㎡
- 思いやり乗降場/川越市デマンド交通乗降場 1か所
- 川越シャトル乗降場 1か所
- 路線バス乗降場 1か所
- タクシー乗降場 1か所
- ベンチ(肘掛け付) 6基
- プランター 10基
- 周辺案内板/広域案内板 1基
- 触知案内板 1基
- 防犯カメラ

【アクセス道路】

- 延長 約35m
- 幅員 約14m

【公衆トイレ】

- 男性用トイレ 小便器2基、大便器1基(ベビーチェア設置)
- 女性用トイレ 大便器2基(ベビーチェア設置)
- 多機能トイレ 大便器1基(ベビーチェア設置)、オストメイト対応折り畳みシート、非常通報装置

概算事業費

北口駅広	3億4千万円	
駅広	7万円/1㎡ × 2,500㎡ = 1億8千万円	案内版等含む
トイレ	2千万円	笠幡駅
アクセス道路	1百万円/㎡ × 15m = 1千5百万円	既存道路に短距離で接続
用地補償費	5万円/1㎡ × 2,500㎡ = 1億2千5百万円	近傍類似事例より類推
南口駅広		
駅広	2億円	町づくり課作成
アクセス道路	2億円	町づくり課作成
駅機能関連	20億5千万円	駅の橋上化
自由通路	240万円/1㎡ × 480㎡ = 11億5千万円	幅6m × 長さ80m(階段含む)
駅舎整備	180万円/1㎡ × 500㎡ = 9億円	
局部改良工事	百万円 × 180m = 1億8千万円	全幅員15m 歩道幅3.5m
	(片側のみの歩道の設置で減額可)	

(参考)橋上駅・自由通路イメージ(滑川町月の輪駅)

